



クルーズに学ぶ

アラスカクルーズ⑦

藤屋 侃士
(下松市幸ヶ丘)

巡礼の道

311

クルーズとツアーの違いは中心となる乗り物の違いによるものだが、旅の質の違いについては意外に関心が持たれていない。

ツアーでの乗り物は名所旧跡などを観光するための移動手段である。一方、クルーズでの客船は移動手段ではあるが、船内での非日常の生活を楽しむことが大きなウエイトを占める。

理屈っぽいことを書いて恐縮だが、クルーズでの非日常の生活の中には日常生活を充実したものにすることをヒントがたくさんある。

アフタヌーンティーで作りたてのケーキを勧められる



テイナーのテーブルのために用意されたアルストロメリア

事、当初、馬鹿々々しいと思っていた。貴族文化の名残でもあるクルーズでのドレスコード、最近これは生活にメリハリをつける点からも意味があることと思いはじめた。

退職して三百六十五日が日曜日のような生活になると、服装などは余り関係なく、いつもパジャマでもいいような気持ちになりがちだ。特に日本人は働くという目的を失うと人生のすべてが終わりとなり、急に老いてしまう傾向がある。退職後の自由な時間がたくさ

が用意しているいろいろなイベントの中から自分で選択して生活を楽しむ。写真教室、ヨガ、生け花教室など昼間は各種教室がある。図書室で読書をする人もいる。これらの中には日常の生活を豊かにするヒントがある。

その一つ、アフタヌーンティー。日本にはこの習慣はないが、クルーズでは毎日午後三時半から一時間、ダイニングルームでアフタヌーンティーを楽しむことができる。静かに流れる生のシンセサイザーの音、焼き立てのスコーン、ケーキ、クッキーなどを食べながら会話を楽しむ。新聞や本を読み、話題を豊富にしておくとお話は弾む。自分でケーキを焼いたり、飲み物は何にするかなど日常生活の中で工夫すれば、この習慣を生かして生活をより豊かにすることができる。

んあるこの時こそ、今までにない人生を充実して生きるチャンスである。

クルーズの船内生活は団体で参加してもほとんどが自由行動。クルーズ会社が用意しているいろいろなイベントの中から自分で選択して生活を楽しむ。写真教室、ヨガ、生け花教室など昼間は各種教室がある。図書室で読書をする人もいる。これらの中には日常の生活を豊かにするヒントがある。

「奥様、今朝はオールグレイですか？」
「今朝はカモミールにして」
「何となく豊かな気分になる。」
今、一番気を使っているのは花。クルーズで食卓を飾るアルストロメリアが毎



写真家、星野道夫著作集には、写真は一枚もない